

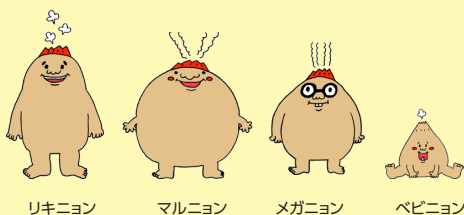
令和4年度 決算のあらまし



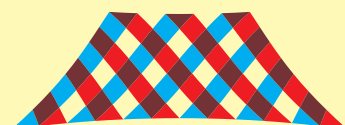
目次

- 4年度の主な事業実績 ……P1
- 4年度決算の状況 ……P3
- 一般会計決算額の内訳 ……P4
- 健全化判断比率と資金不足比率 ……P7

マグマシティPRキャラクター火山の妖精 マグニオン



あなたとわくわく



マグマシティ
鹿児島市

令和4年度の主な事業実績

「市民のための市政の実現」に向け、6つの基本目標のもと、次の諸施策に重点的に取り組みました。

1 信頼とやさしさのある 共創のまち

①町内会加入申込プラットフォーム構築等事業 〔1,993千円〕

市ホームページに町内会加入申込フォームを設け加入促進を図りました。

②AI等活用推進事業〔20,898千円〕

AIやRPA等の新たな技術を積極的に活用し、保育所等の入所選考支援など定型業務の効率化を図りました。

③個人番号カード交付事業〔757,721千円〕

個人番号カードの出張申請受付を地域公民館や商業施設等において行うなど、さらなる普及促進やマイナポイントの申込支援を行いました。

④女性のつながりサポート事業 〔5,999千円〕

さまざまな困難や不安を抱える女性が社会とのつながりを回復できるよう、居場所づくりや相談の実施、生理用品の提供など、女性に寄り添ったきめ細かな支援を行いました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 地域の魅力・活力共創事業
- 公共施設予約システム整備事業
- 市ホームページ魅力アップ事業
- 青少年国際交流オンライン体験事業
- 姉妹友好都市等との交流事業
- 多文化共生推進事業
- 「For Asians」暮らし便利アプリ開発事業
- など

2 自然と都市が調和した うるおいのあるまち

①ネクストかごりん導入事業〔20,640千円〕

さらなる利便性・回遊性の向上を図るため、スマートフォンアプリを利用した新たなかごりんの導入に取り組みました。

②太陽光を利用した避難所機能強化事業 〔3,025千円〕

二酸化炭素排出量の削減や停電時の電源確保のため、災害時に避難所となる施設（宇宿福祉館・西伊敷福祉館）への太陽光発電システムや蓄電池の導入に向けた実施設計等を行いました。



③羽毛循環リサイクル事業 〔613千円〕

資源の有効活用を図るため、北部清掃工場に粗大ごみとして持ち込まれた羽毛布団の資源化を推進しました。

④リサイクルプラザ施設整備事業 〔74,257千円〕

安全で衛生的かつ効率的な資源処理を行うため、施設の整備を行うとともに、北部清掃工場の資源物ストックヤード増設に向けた実施設計を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- かごしまゼロカーボンチャレンジ事業
- グリーンオフィスかごしま推進事業
- 次世代自動車等普及促進事業
- 合葬墓整備事業
- など

3 魅力にあふれ人が集う 活力あるまち

①観光農業公園キャンプ場整備事業 〔43,542千円〕

観光農業公園のさらなる魅力向上や利用促進を図るため、オートキャンプ場を整備しました。

②アフターコロナ・リカバリーサポート補助金 〔17,504千円〕

宿泊施設等における衛生対策、コロナ収束後の観光需要回復を見据えた魅力づくりや受入体制の充実に向けた取組などを支援しました。

③スマート農業推進事業〔5,277千円〕

省力化・高品質生産等により、農業の収益力向上を図るため、ICT等の先端技術を活用したスマート農業技術の導入に向けた取組に対して支援等を行いました。



④“まってるし鹿児島市”宿泊キャンペーン事業〔143,482千円〕

市内宿泊施設で宿泊の割引を受けられるクーポンを市独自に発行し、桜島噴火警戒レベル引上げに伴う本市観光の風評被害対策やコロナ禍の需要喚起策として、宿泊キャンペーンを実施しました。

⑤サッカー等スタジアム整備検討事業 〔20,476千円〕

多機能複合型スタジアムの実現に向け、より具体的なコンセプトなどの検討を進めたほか、機運向上イベントを開催しました。



⑥プレミアム付商品券等発行支援事業 〔320,722千円〕

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、商店街の活性化を図るとともに、地域における消費の喚起・下支えを行うため、プレミアム付商品券の発行などを行う商店街等に対し助成しました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 甲突川リバーサイド利活用事業
- 海外プロモーション推進事業
- 観光案内所管理運営事業
- 特別国民体育大会等準備事業
- 磯新駅設置促進事業
- 家賃支援金事業
- プレミアムポイント事業
- 6次産業新商品開発チャレンジ事業
- など

4 自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち

①新型コロナウイルス感染症予防医療事業 〔3,316,873千円〕

新型コロナ対策として、PCR等検査の費用や入院患者医療費の自己負担分の公的負担を行うとともに、自宅療養者の生活を支援するため、食料支援や健康観察等を行いました。

②新型コロナウイルスワクチン接種事業 〔2,979,964千円〕

新型コロナ対策として、予防接種法に基づきワクチン接種を行いました。

③がん患者ウィッグ購入費助成事業〔4,617千円〕

がん患者の就労等の社会生活を支援するため、ウィッグの購入費を助成しました。

④災害関連特定急傾斜地崩壊対策事業〔84,885千円〕

急傾斜地の崩壊による土砂災害から住民の生命を保護するため、過去に被災した地区において、市単独による急傾斜地崩壊対策の防災工事を実施しました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業
- ICTを活用した保健指導事業
- 骨髄等移植ドナー支援事業
- 災害時避難行動力向上事業
- など

5 豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち

①保育士等処遇改善補助金 〔316,662千円〕

保育士・幼稚園教諭等の収入を3%程度引上げるための補助金を交付しました。



②出産・子育て応援事業〔423,900千円〕

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、伴走型相談支援と出産・子育て応援金による支援を一体的に実施しました。

③デジタルドリル整備事業 〔53,593千円〕

児童生徒一人ひとりに応じた学びを提供するため、小・中学校においてICTを活用した学習ドリルの導入を行いました。



④桜島地域学校規模適正化推進事業〔56,153千円〕

桜島地域における小中一貫教育の導入に向けて、保護者等との協議を行うとともに、新たな学校施設の基本設計を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 保育士等奨学金返済補助金
- 児童クラブICT化推進事業
- 病児・病後児保育受付システム導入事業
- 子ども家庭見守り相談支援員設置事業
- スクールロイヤー活用事業
- ICT環境整備事業
- 校舎建替事業
- 天文館図書館管理運営事業
- など

6 質の高い暮らしを支える 快適なまち

①照国表参道歩行者天国社会実験事業〔5,049千円〕

来街者の増加や回遊性の向上を図るため、照国表参道(国道225号)において、歩行者天国社会実験を行いました。

②浜町1番街区再開発事業 〔313,809千円〕

鹿児島観光ビルマンション建替組合が行う再開発ビルの本体工事等に対し、助成しました。



③千日町1・4番街区再開発ビル保留床取得支援事業 〔400,057千円〕

民間事業者が行う千日町1・4番街区再開発ビルの保留床取得に対して支援を行いました。

④住生活基本計画(仮称)策定事業〔10,999千円〕

住生活に係る各種施策を総合的・一体的に推進するため、住宅政策の基本的な方向性を示す住生活基本計画(仮称)の策定に取り組みました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 鹿児島中央駅周辺一体的まちづくり推進事業
- 谷山第三地区地区界対策事業
- 田上小学校周辺面的整備調査検討事業
- 主要渋滞箇所対策事業
- 公共交通利用喚起支援事業
- など

物価高騰対策

4年度は、長引く物価高騰に直面する市民・事業者を支援するため、以下の事業を行いました。

- レシートを活用したプレミアム還元事業
- 飼料価格高騰対策緊急支援事業補助金
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業
- 介護サービス事業所等物価高騰対策支援事業
- 子育て世帯応援特別給付金支給事業
- 保育所等給食費支援補助金
- 物価高騰に係る学校給食費支援補助金
- 路線バス等運行維持支援補助事業
- など

令和4年度決算の状況

区分	歳入 (A)	歳出 (B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度繰越財源 (D)	実質収支 (C-D)
一般会計	2,970億4,731万円	2,879億7,059万円	90億7,672万円	24億8,561万円	65億9,111万円

区分	歳入 (A)	歳出 (B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度繰越財源 (D)	実質収支 (C-D)
特別会計	1,345億 4,126万円	1,347億9,910万円	△ 2億5,784万円	10万円	△ 2億5,794万円
土地区画整理事業清算	1億3,885万円	1億3,885万円	0	0	0
中央卸売市場	13億1,982万円	12億8,916万円	3,066万円	10万円	3,056万円
地域下水道事業	1億3,011万円	1億2,229万円	782万円	0	782万円
桜島観光施設	1億2,947万円	1億2,947万円	0	0	0
国民健康保険事業	667億8,420万円	693億9,138万円	△ 26億718万円	0	△ 26億718万円
介護保険	565億1,282万円	545億4,405万円	19億6,877万円	0	19億6,877万円
後期高齢者医療	91億9,801万円	91億1,195万円	8,606万円	0	8,606万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	3億2,799万円	7,196万円	2億5,603万円	0	2億5,603万円

区分	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A-B)
企業会計	521億3,514万円	505億3,896万円	15億9,618万円
病院事業	253億8,146万円	249億573万円	4億7,573万円
交通事業	37億6,095万円	38億7,897万円	△ 1億1,802万円
水道事業	109億7,642万円	94億8,511万円	14億9,131万円
工業用水道事業	1,259万円	697万円	562万円
公共下水道事業	97億5,089万円	96億5,678万円	9,411万円
船舶事業	22億5,283万円	26億540万円	△ 3億5,257万円

※ 企業会計は収益的収支を税抜き額で表示しています。

【ポイント】

一般会計は、歳入額から歳出額を差し引いた額（形式収支額）は91億円で、ここから翌年度で支払わなければならない繰越財源25億円を引いた額（実質収支額）は66億円となり、前年度に引き続き黒字を確保しました。

特別会計は、国民健康保険事業特別会計において26億円の赤字となりましたが、翌年度からの繰上充用で対応しました。また、その他の特別会計は黒字が収支均衡となりました。

企業会計は、交通事業、船舶事業において赤字となりましたが、その他の会計は黒字を確保しました。

一般会計

市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計です。主な収入は、市税や国・県支出金などです。

特別会計

特定目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理する会計です。
〔4年度 8会計〕

企業会計

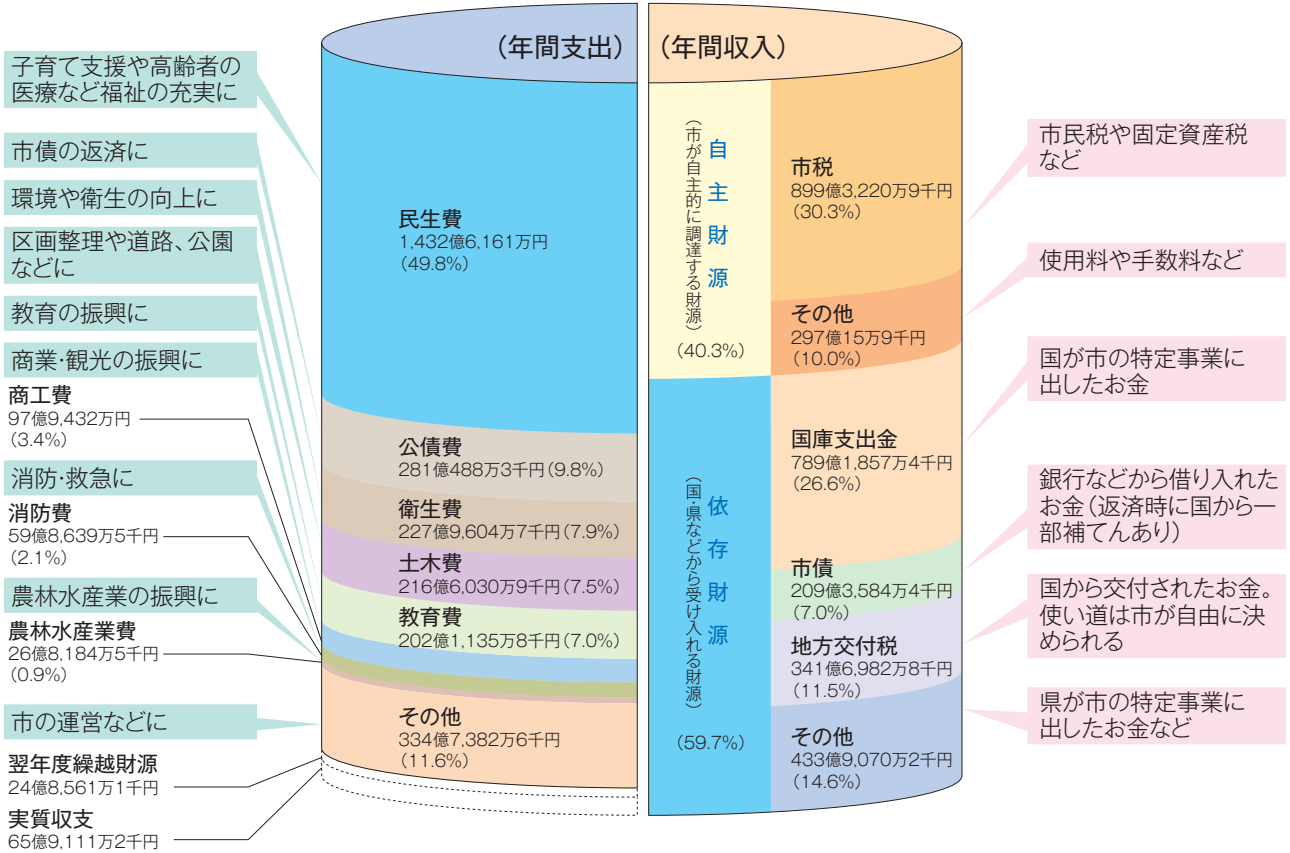
地方公営企業（市立病院、交通局、水道局、船舶局）の会計で、民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営する会計です。
〔4年度 6会計〕

一般会計決算額の内訳

歳入:市税が最も多い
歳出:民生費が最も多い

歳出
2,879億7,059万3千円

歳入
2,970億4,731万6千円



【歳出のポイント】

歳出総額は、2,880億円で、前年度比94億円(3.2%)の減となりました。
歳出で最も多いのは、社会保障関係経費である子育て支援や生活保護費などに使われる民生費の1,433億円で、一般会計全体に占める割合は49.8%となりました。

【歳入のポイント】

歳入総額は、2,970億円で、前年度比109億円(3.6%)の減となりました。
歳入で最も多いのは市税の899億円で、国庫支出金は住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金に係る収入などの減少により、前年度と比較し、139億円の減となりました。

市民1人当たりの使い道は?

1人当たり48万3千円のうち、福祉の充実に24万円

一般会計の歳出決算額2,880億円の使い道を市民1人当たりに換算してみました。

市民1人当たり 48万3千円の使い道

○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に
24万円



○環境や衛生の向上に
3万8千円



○商業・観光・農林水産業の振興に
2万1千円



○区画整理や道路、公園などの整備に
3万6千円



○消防・救急に
1万円



○市債の返済に
4万7千円



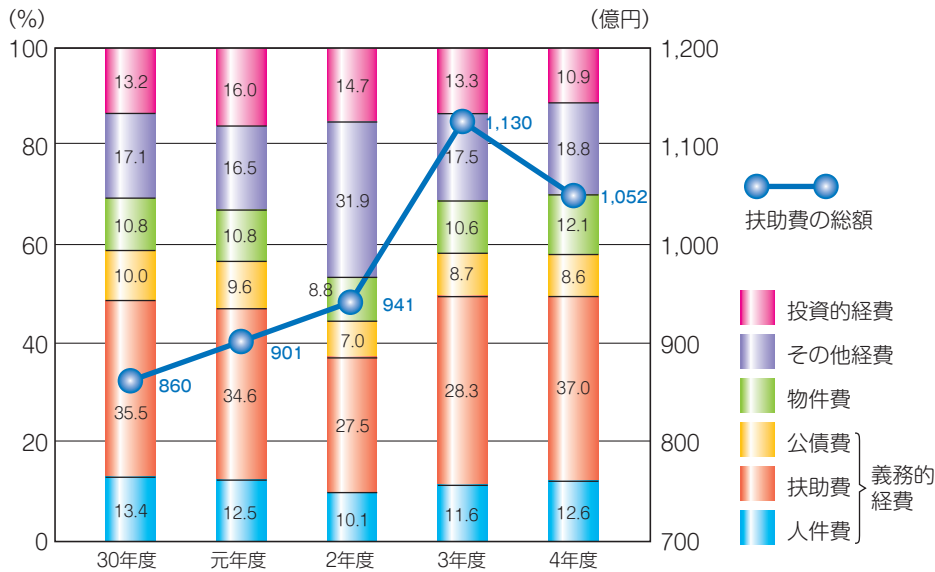
○教育の振興に
3万4千円

○市の運営などに
5万7千円



歳出決算(性質別)の推移(普通会計)

扶助費は増加傾向



【歳出決算のポイント】

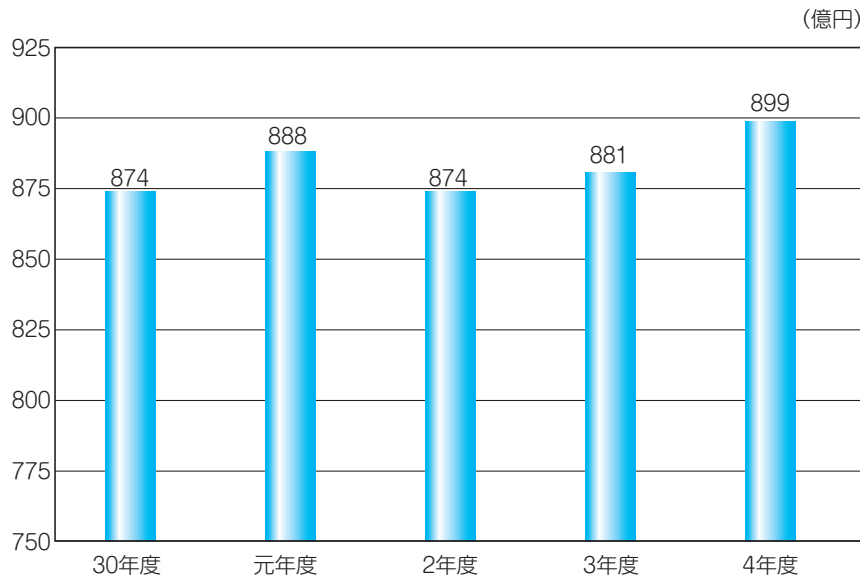
4年度決算では生活保護や子育て支援、高齢者の医療などの扶助費が、子育て世帯への臨時特別給付事業の皆減などにより、前年度から減少していますが、全体の37%を占めています。

■用語メモ

「普通会計」とは、各市町村の決算状況を統一的に比較するために地方財政統計で用いられている会計区分です。鹿児島市では、一般会計のほか、土地区画整理事業清算、地域下水道事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業の3特別会計を合わせたものです。

市税の推移

4年度は前年度より18億円増加



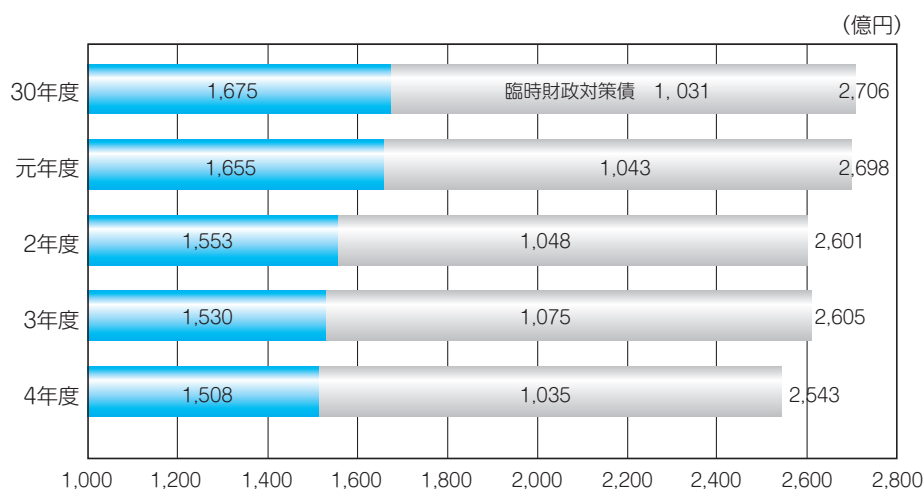
【市税のポイント】

市税は鹿児島市のまちづくりを行うための最も重要な財源で、市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。

4年度決算は、固定資産税が増加したことなどにより、前年度より18億円増の899億円、歳入全体に占める割合は30%となりました。

市債残高の推移

実質的な残高は減少傾向



(1) グラフの右部分は実質的な地方交付税である臨時財政対策債です。

(2) 左部分は臨時財政対策債を除いた残高です。

【市債残高のポイント】

市債は、道路や公園などを整備するにあたり、将来の市民の皆さんにも公平に費用負担をしていただくため、また、返済時に国から地方交付税が配分される観点から発行しました。

臨時財政対策債を除く実質的な市債残高は、1,508億円となりました。

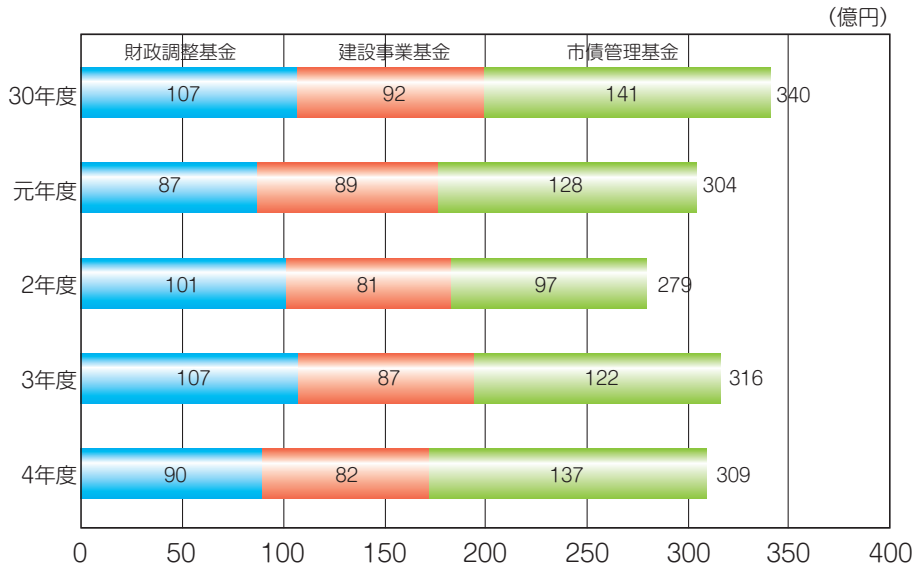
(市民1人当たり25万円となりました。)

■用語メモ

「臨時財政対策債」とは、本来は地方交付税として、国から配分されるお金を国の財政上の都合で市が借りているものです。返済はすべて国の負担です。

基金残高の推移

4年度は前年度より7億円減少



【基金残高のポイント】

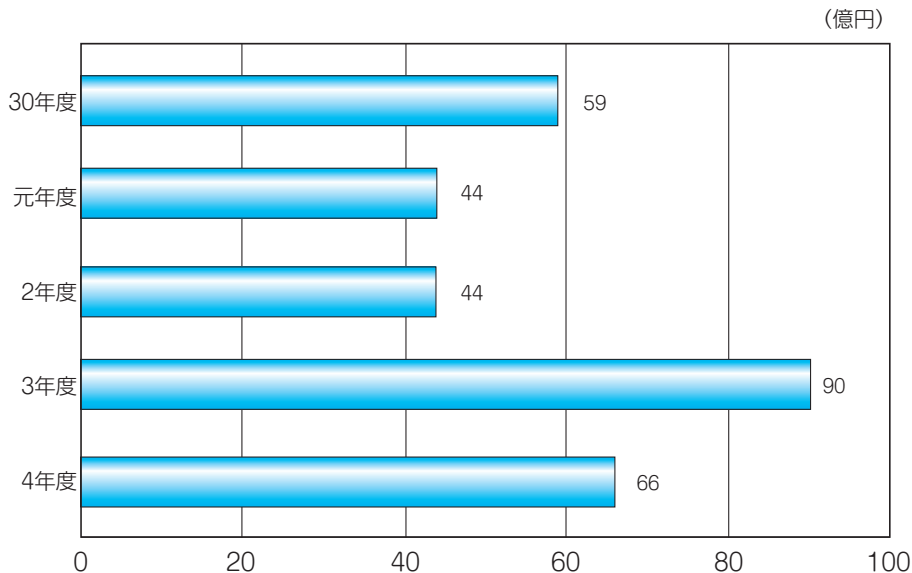
基金は、一般家庭の貯金に相当するもので、左の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行っています。

この3基金は、少子高齢化、人口減少、社会保障関係経費の増加、公共施設等の適正管理、災害などに対処していくために必要な財源です。

4年度の残高は、前年度から7億円減少し、309億円になりました。(市民一人当たり5万円となりました。)

実質収支の推移

4年度は66億円の黒字を確保



【実質収支のポイント】

事務事業のしゅん別や見直し、経費の効率的な執行を行ったほか、可能な限りの財源の確保に努めたことなどにより、4年度決算では、66億円の黒字額を確保し、引き続き、健全財政を維持することができました。

■用語メモ

「実質収支」とは、その年度の決算で、収支が赤字か黒字かを示す指標で、歳入と歳出の差引額から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額をいいます。

令和4年度決算のまとめ

本市の4年度決算は、前年度に引き続き黒字を確保し、実質的な市債残高も減少するなど、健全な財政運営を維持する中で、さまざまな施策を積極的に推進し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立、物価高騰対策に取り組むとともに、市勢の発展に努めました。

今後見込まれる社会保障関係経費の増大など、財政状況は、厳しさを増していくと思われるが、可能な限り、各面からの財源を確保し、事業のしゅん別や見直しを行い、健全な財政運営に努めていきます。

★鹿児島市の予算や決算の状況は、市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

(【トップページ】→【市政情報】→【予算・決算・財政】→【財政状況】)



健全化判断比率と資金不足比率

※毎年度、「健全化判断比率」と「資金不足比率」を公表しています。

○健全化判断比率

【健全化判断比率のポイント】

市の財政の健全度を測る指標で、基準を超えた場合、計画を定めて財政対策に取り組むこととなります。すべての項目で、早期健全化基準内となっています。

4 指 標	内 容	4年度決算(速報値)		早期健全化 基準 (イエローカード)	財政再生 基準 (レッドカード)
			中核市順位		
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字の比率	—	—	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	全会計の赤字や黒字を合算した実質的な赤字の比率	—	—	16.25%	35.0%
実質公債費比率	借入金(地方債)の返済額やこれに準じた額の大きさを示す比率	4.3% (3.8%)	27位/62市 (23位/62市)	25.0%	35.0%
将来負担比率	一般会計などの地方債や将来支払う可能性がある負担などを加味した実質的な負債の比率	25.1% (25.6%)	34位/62市 (30位/62市)	350.0%	

※()内は3年度決算

○資金不足比率

【資金不足比率のポイント】

公営企業会計の財政の健全度を図る指標で、基準を超えた場合、計画を定めて経営改善に取り組むこととなります。4年度決算では資金不足が生じている会計はありません。

公営企業会計	4年度決算	経営健全化基準
船舶事業	— (2.0%)	20.0%
病院事業 交通事業 水道事業 工業用水道事業 公共下水道事業 中央卸売市場 桜島観光施設	— (—)	

※()内は3年度決算

～「かごしま市決算のあらまし」の作成に当たって～

60万市民の皆さまからお預かりした大事なお金。

市民と協働のまちづくりを進めていくために、大切にに使わせていただきました。

これからの「予算」だけでなく、取組の成果である「決算」を見やすく、わかりやすくお伝えし、あすの鹿児島市につなげていくために「令和4年度決算のあらまし」を作成しました。

市政の主役である市民の皆さまのさまざまなご活躍を、健全財政の維持と創意工夫を凝らした行財政運営で、これからも支えてまいります。

令和4年度 決算のあらまし
編集／発行:鹿児島市財政課

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 ☎099-216-1155